

授業科目	＊英語文学Ⅰ						実務家教員担当科目	－			
単位	2	履修	必修	開講年次	2		開講時期	前期			
担当教員	ブラウン馬本 鈴子										
授業概要	英語でかかれた文学の入門講座として、欧米人なら誰でも読んだことがある本を読んでいく過程で、文学作品の技法や背景を学習していく。まずは、イギリス人の子供なら大抵最初に手にする絵本である The Tale of Peter Rabbit を原文で読み、次に、英語学習者用に編集されたオックスフォードの graded readers 版で、探偵小説 Sherlock Holmes と、児童文学の傑作 Anne of Green Gables を読む。また折にふれて、原作と比較をしたり、映像資料を見たり、他の関連作家の作品に触れる。										
授業形態	対面授業				授業方法	Google クラスルームを資料掲載や課題提出に利用する					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 授業で取り上げた英米文学作品をきっかけに、文学作品の魅力に触れることができる。 2. 講義を通して精読、速読を進める中で、英語力の向上ができる。										
理想的レベル	授業で扱った文学作品を原著でも読めるようになる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト			40				第 15 回授業時間に、指示に従い解答して提出				
レポート			30				毎回の授業で提出する和訳や確認ミニテスト、感想など				
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他			30				発表の仕方、内容の質、授業受講時の態度				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	○	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	EN21209J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
授業前は課題の和訳をする前にまず音声を聞き、全体の流れを英文で理解してから自分の和訳担当箇所を丁寧に和訳し、授業後はもう一度音声を聞いて理解が難しい箇所がまだあれば読み直す。										4	
授業計画											
第 1 回	授業オリエンテーション＋The Tale of Peter Rabbit 導入 ピーターラビット資料配布、和訳提出役割表の説明、文学との関わりにおける自己紹介、春休みの読書体験などを記入										
第 2 回	The Tale of Peter Rabbit 前半										

	読解確認・内容解説 雑誌より湖水地方を紹介する 作家の人生とナショナルトラストについて説明する クラスメイトの文学に関する情報をシェアする
第3回	The Tale of Peter Rabbit 後半 読解確認・内容解説 ピーター家系図を見る、Peter Piper、『ピーターラビットのおはなし』資料説明 映像資料（冒頭）、映画メモ記入
第4回	映像資料（残り）＋補足説明 映画メモ記入
第5回	映画メモ返却 Sherlock Holmes: The Speckled Band 読解確認・内容解説 ベーカーストリートや作家の履歴を確認する（クラスルーム資料、動画あり）
第6回	Sherlock Holmes: A Scandal in Bohemia 読解確認・内容解説 （英文の書き出しクラスルーム資料あり）
第7回	Sherlock Holmes: The Five Orange Pips 読解確認・内容解説 （原作クラスルーム資料、動画あり）
第8回	映像資料＋補足説明 映画メモ記入
第9回	映画メモ返却 Anne of Green Gables 1-2 読解確認・内容解説 最初のシーンの原作を確認する care の用法（クラスルーム資料あり）
第10回	Anne of Green Gables 3-4 読解確認・内容解説 リンド夫人に対決するアンのセリフを原作で確認する（クラスルーム資料あり）
第11回	Anne of Green Gables 5-6 読解確認・内容解説 マシューをなくしたアンの心情を原作で確認する、登場人物とキリスト教（クラスルーム資料あり）
第12回	映像資料（前半）＋補足説明 映画メモ記入
第13回	映像資料（後半）＋補足説明 映画メモ記入
第14回	映画メモ返却 Anne of Green Gables 文学批評＋補足説明

	読み方・作家の履歴を確認する、最後のシーンの原作を確認する、ロバート・ブラウニングの詩を読む (クラスルーム資料あり)
第15回	まとめ 小テスト (第1週～第14週の復習・確認及び応用) *辞書・タブレット・携帯や訳本以外は、前期に扱ったテキストやメモ、自分の和訳やクラスルーム資料をプリントアウトしたものなど全て持ち込み可能。 アンケート
テキスト	Oxford Bookworms Library 2: Sherlock Holmes Short Stories (OUP) ←購入必須 Oxford Bookworms Library 2: Anne of Green Gables (OUP)←購入必須 The Tale of Peter Rabbit (Frederick Warne & Co. Ltd.)←この本に限り、希望者にはプリントを配布するので、購入の有無は個人選択とする。一般の大手書店でも購入はできるが、ネット販売 (amazon.co.jp など) の方が良心的な価格設定である。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	授業中に適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	*小テスト：成績発表後に、希望者には個別に結果を提示する。 *レポート：確認ミニテストやレポートの回答例は授業中に解説したり、学生のレポートの添削例をクラスルームに掲示したりする。和訳は、基本的には、シラバス上記載の授業計画の内容をクラスルームに授業時間開始前までに提出すること。
学生へのメッセージ・コメント	教師の私自身も痛感することですが、教養ある欧米人と英米文学について話をする時に驚かされるのは、日本人と比べて圧倒的に多い読書経験です。英語が母国語でない日本人が原書で英米文学に挑もうとするのは勇氣ある挑戦ですが（もちろん良い側面も沢山あることを強調しておく）、膨大な時間がかかるので、その結果として欧米人の読書量には及びません。英語学科の学生には、翻訳版であれ、映画であれ、できるだけ沢山の文学作品に触れてもらいたいと願います。ちなみに授業で扱う本以外にも、英語学習者用に編集された graded readers 版は本大学に数多くありますので、是非図書館へ足を運んでみてください。前期後期とこの英語文学入門講座を受講した学生は、オックスフォード社の graded readers 版のステージ2, 3, 4を読んだことになるので、どのレベルが自分に適しているかを知ることと、今後の読書選択に繋がってもらえたらとも思います。